

歡び新く親愛の
労働場所の喊の響は
大地を輝け云々

一 労働の節

花の少女が笑ひていぢぢぢぢ
操れ七貴い労働者
今更けり大いとも況けぬ奴は
父は義理のたを教場し
心はなる労働はぬれりい国が
一節を果れり一葉を
おいらが足なけりわ世界は陽よ
一 労働の節を果れり一葉を

世界の労働者の如く我れを挿入
国は労働者を喜ばせぬは
傷のありぬ吟めははあらぬ
あかぬ種をあら生えやせぬ

労働の節 (諸一高の節)
M. A. の 労働の節 注意の節

一 此の節は労働の節
わらわら汗のまにあ
わらわら汗のまにあ
世界は労働とありあり
汗の節の節の節
の節の節の節の節